

# プログラム Program

- PM 1:00 開会あいさつ 高知県精神保健福祉協会会長 明神 和弘  
来賓あいさつ 高知県知事 尾崎 正直  
高知市長 岡崎 誠也  
高知県医師会長 岡林 弘毅
- PM 1:20 表彰式
- PM 1:30 ..... 休 憩 .....
- PM 1:35 アトラクション 藤戸病院デイケア  
コーラスグループ「HAZAMACER'S (ハザマッカーズ)」
- PM 1:45 ..... 休 憩 .....
- PM 1:50 講演「うつ状態とリワーク再考」  
**講師** 医療法人 社団ほっとステーション理事長 山田 秀世
- PM 3:00 ..... 休 憩 .....
- PM 3:10 シンポジウム「さまざまな場でのうつ病の就労支援」  
シンポジスト  
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構高知支部  
高知障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 小島むつき  
医療法人精華園海辺の杜ホスピタル 健康推進室室長 槇本 宏子  
社会医療法人近森会近森病院総合心療センター  
デイケア「パティオ」主任 川淵 忠義  
助言者 医療法人 社団ほっとステーション理事長 山田 秀世  
座 長 社会医療法人近森会 近森病院総合心療センター副センター長 宮崎 洋一
- PM 4:25 閉会あいさつ 高知県精神保健福祉協会 副会長 森信 繁

【主催】 高知県精神保健福祉協会

【事務局】 高知県精神保健福祉協会 高知市丸ノ内1-2-20 高知県地域福祉部障害保健福祉課内 TEL 088 (823) 9669

【後援】

高知県・高知県教育委員会・高知市・高知市教育委員会・高知市長会・高知県町村会・(一社)高知県医師会・(社福)高知県社会福祉協議会・(公社)高知県理学療法士会・(一社)高知県作業療法士会・高知臨床心理協会・高知県臨床心理士会・高知県精神保健福祉士協会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・高知県精神障害者家族会連合会・(公社)高知県看護協会・(一社)日本精神科看護協会 高知県支部・高知県精神科病院協会・高知県精神神経科診療所協会・(独)労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター・高知県民生委員児童委員協議会連合会・(特非)高知いのちの電話協会・(一社)日本産業カウンセラー協会四国支部高知事務所・(特非)生活の発見会・森田正馬生家保存を願う会・NHK高知放送局・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知

## 第56回 高知県精神保健福祉大会

# うつ病と リワーク

## 就労と再生の支援

平成 28年 10月19日 水

午後 1:00~4:30

高知県民文化ホール  
(グリーン)

入場無料

## 「うつ病とリワークー就労と再生の支援」

大会実行委員長 宮崎 洋一

30年前、私が精神科医になったころ、統合失調症を発症してしまうと今後の就労を考えることは、高知のような仕事の少ない地方都市においては大変困難なことでした。20年前当院スタッフがボストンに見学に行った際、アメリカではジョブコーチなるものがつき、様々な就労支援をして統合失調症の患者さんがどんどん就労にチャレンジしているという話を聞いて、信じ難い思いをしたものです。ところが今や日本でも同様の就労支援体制ができています。加えて統合失調症の治療も副作用の少ない薬物と早期のリハビリがなされることとなり、日本でも統合失調症の患者さんが(保護的就労の割合が多いとはいえ)普通に仕事に就ける時代になり、隔世の感ひとしおで感慨深いものがあります。

翻ってうつ病の患者さんの就労はどうでしょうか？ 30年前うつ病の治療は抗うつ剤と休業と精神的サポートで概ね順調に改善し、仕事に復帰できると思われていました。景気の良かったころは実際そのとおりでしたが、バブルがはじけてからは仕事の敷居が高くなり、復職しても再度悪化してしまうことが多くなり、当院では平成14年からうつ病の方を対象に就労に特化したリハビリデイケアを開始しました。当時はうつ病のリハビリという考え方がなく理解していただくのに随分時間がかかりましたが、少し遅れてうつ病のリハビリデイケアが全国あちこちに設置されるようになり、本日のテーマになっている「リワーク(うつ病からの復職)」という言葉も生まれてきました。それと共に統合失調症の方にも大いに役立つ様々な就労支援システムが徐々にできあがってきて、うつ病の方の復職・再就職にも活用されることとなりました。

今回は北海道で森田療法の普及と発展にご尽力されると共に様々な精神障害の方の「リワークとリカバリー」に力を入れておられる、山田秀世先生にご講演いただき、その後、リワークデイケア、障害者職業センター、一般企業と違う立場でそれぞれの仕方でうつ病の方の就労支援をしておられる3名の方々にシンポジストとして発表させていただきます。

不幸にしてうつ病に陥ってしまった方がどのような道のりで回復して仕事に戻っていけるか、順調に復職するためには職場でどのようなことが大切なのか、どのような役に立つ社会資源が現在あるのか等を皆様にお伝えできる大会になることは間違いのないと思います。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

## 第56回高知県精神保健福祉大会開催にあたって

高知県精神保健福祉協会 会長 明神 和弘

第56回高知県精神保健福祉大会は、「うつ病とリワーク」をテーマとさせていただきます。近年うつ病の患者さんにおいて、うつ状態はある程度回復したものの職場復帰となると不安を感じ二の足を踏んだり、仮に復帰してもすぐに症状が悪化してしまったりうつ状態を再燃させるといった事がよく見受けられますし、実際多くなってきているように思います。以前と違って職場で求められる基準が高くなっていることに原因があるのかもしれませんが、こうした方々が、何とかして職場復帰を果たし元の生活を取り戻すためにはどうすれば良いのかを考えた時、うつ病に対する「リワーク・リハビリテーション」の考えが生まれてきたように思います。

第1部では、札幌市の大通公園メンタルクリニック院長で主にうつ病の患者さんの復職に取り組んでいらっしゃる山田秀世先生をお招きしご講演いただく予定です。先生自らの経験を通じてのお話で、皆様の関心のある内容になるのではないかと期待しております。

第2部ではそれぞれ違った立場でうつ病の患者さんの就労支援をされている、高知県障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー・小島むつきさん、海辺の杜ホスピタル健康推進室室長・榎本宏子さん、近森病院総合心療センターデイケア「パティオ」主任・川淵忠義さん3名にシンポジストとしてお話いただきます。その後、山田先生、大会実行委員長の宮崎先生を交えてのディスカッションを予定しております。

この大会が、少しでもうつ病で苦しんでいる患者さんやそのご家族、また関係者の方々のお役に立つことができると願っております。

## 講演タイトル

# 「うつ状態とリワーク再考」

山田 秀世

リワークという形態の復職支援モデルは、昨今急増するうつ病を中心とする精神疾患で休職している人々をいかに回復させ復職させるか、という社会的な要請を背景に生まれたものといったらよいだろう。

同じ精神疾患でも、相応のキャリアを持ち精神医療とは縁の薄かった患者にとっては、旧来型の精神科デイケアでは適切な復職訓練は確かに困難だろう。

しかし、現代の日本社会で何らかの不応を呈し職場や日常での生活に支障をきたす人々が本当に必要とするものが、近年広く普及しつつあるリワークのどんな特性に見出すことができ、どう有効機能しているのだろうか。

リワークが精神医療の表舞台に登場して約10年が経過した現在、リワークを含めた復職支援の経験を踏まえて、そのことを改めて考えてみたいと思う。

## 講師プロフィール



講師

医療法人  
社団ほっとステーション  
理事長

やまだ ひでよ  
**山田 秀世**

### ■経歴

和歌山県生まれ。金沢大学医学部卒。都立松沢病院および都立府中病院に勤務した後、平成9年に札幌市で精神科クリニックを開業。現在は、主にうつ病の患者に特化した復職デイケア(リワーク)プログラムに取り組んでいる。また、生まれ故郷の熊野でうつ病の患者の回復と再生を支援するプロジェクトを立ち上げるため、毎月2度和歌山に出張している。現在所属する学会は日本ブリーフサイコセラピー学会と日本森田療法学会。

### ■趣味

川柳、狂歌の創作  
クラシック音楽鑑賞(マーラーの交響曲、ベートーヴェンのピアノ曲)  
鉄道模型

### ■特技

診察で患者さんの似顔絵を即興で素早く描くこと。

### ■著書

医療におけるブリーフセラピー(共著/金剛出版)  
心理療法を見直す“介在”療法(共著/明石書店) ほか

### ■訳書

バイオレント・パーソンー暴力の診断と治療ー(共訳/金剛出版)  
ブリーフセラピーの技法を超えて(共訳/金剛出版) ほか